２０２６年 １１月 ９日

個人向けアプリへの FIDO 認証の共同導入について
～TSUBASA アライアンスの共同施策として安全性と利便性の向上を推進～

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）は、TSUBASA アライアンス※1 における共同施策の一環として、個人向けアプリのセキュリティ強化を目的とした FIDO 認証※2 の導入を決定しましたので、お知らせします。

近年、金融機関を狙ったサイバー犯罪が高度化・巧妙化しており、強固な認証基盤の整備が重要な課題となっています。本施策に参加する各行は、お客さまにデジタルサービスを安全・安心にご利用いただくため、FIDO 認証基盤を共同で構築・利用します。個別に構築する場合と比べ、より効率的なセキュリティ対策を実現するとともに、サイバーセキュリティ水準の向上を図ります。

FIDO 認証を導入することで、お客さまは振込時に従来必要としていたワンタイムパスワード（OTP）の入力が不要となるほか、銀行側もトランザクション認証で振込内容の改ざんを検知できるようになります。これにより、振込時のお客さまの操作負担を軽減しながら、不正送金リスクの低減を図ります。

当行は今後も、TSUBASA アライアンス参加行との連携を通じて、お客さまに安全・安心かつ便利にデジタルサービスをご利用いただける環境の整備に取り組んでまいります。

※1 千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の 10 行が参加する地銀広域連携の枠組み。（URL：https://tsubasa-al.co.jp）

※2 スマートフォンの指紋認証や顔認証などを利用し、公開鍵暗号技術により安全に本人確認を行う認証方式。パスワードの入力が不要となり、安全性と利便性を両立できる。

【ご参考】TSUBASA アライアンスの紹介動画

URL：https://youtu.be/WzYPOfn-SFc

本動画では TSUBASA 共同事務センター構想のほか、基幹系システム共同化、シンジケートローン、スマートフォンアプリ、TSUBASA Smile を紹介しています。

【関連するＳＤＧｓ】

東邦銀行グループでは、『サステナビリティ宣言』を制定し、グループ全体で地域経済の活性化や社会的課題の解決に向けた取組みを通して“地域社会に貢献する会社へ”を目指しています。

以上

東邦銀行